

～「不良を出さない!作らせない!」品質を保証する検査への転換～

検査員の意識改革と 検査業務改善の進め方

日 時

2025年10月28日(火) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会 場

日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講 師

坂田 慎一 氏
SKGマネジメント 代表
技術士(経営工学部門)

坂田 直樹 氏
バーソル(株) 取締役

受講料

46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】 検査計画の進め方から検査の分類・内容・検査員の管理手法が学べます。
- 【2】 受入検査の課題整理の進め方と、外注品品質の向上につながる指導方法が理解できます。
- 【3】 工程検査と製品検査の差異が理解でき、これらの検査での具体的な改善の進め方が学べます。
- 【4】 判定精度を向上するための限度見本の管理手法、判定結果の定量化と解析手法が掴めます。

プログラム

1. 利益をもたらす検査の考え方

- (1) 検査の目的
 - ①検査を考える際の大前提 ②検査は品質保証の手段
- (2) 検査と品質管理
 - ①品質管理の3領域と検査 ②品質向上への貢献と不良の再発防止
- (3) 品質保証の基礎的な考え方
- (4) 検査の経済性評価
- (5) 検査の進め方とポイント

2. 検査計画と検査管理の進め方

- (1) 検査計画の内容と立案事項
 - ①検査対象を決める ②検査方法の決定 ③検査項目
 - ④検査環境と測定器の管理 ⑤検査の主体性
- (2) 検査員の管理とポイント
 - ①管理段階は4つ ②新人向け初期育成のポイント
- (3) 検査的テストの活用
 - ①YGテストによる被験者の性格特性の把握 ②YGテストの紹介と実施

3. 受入検査と外注品質の改善対策

- (1) 受入検査の目的と働き
- (2) 受入検査の種類
- (3) 受入検査の進め方
 - ①短期と中長期の活動 ②無試験検査への対応
- (4) 外注品質の向上対策
 - ①問題発見と問題解決を分ける ②マネジメントサイクルにお使い別け
- (5) 品質意識の向上と支援

4. 工程検査と製品検査の改善対策

- (1) 工程検査とは
- (2) 工程検査の問題と対策
- (3) 5Sと5Mで品質を作り込む
- (4) 製品検査とは
- (5) 製品検査の問題と対策
- (6) 源流管理で不良の再発を防ぐ

5. 特別採用とクレーム処理

- (1) 特別採用とは
- (2) 特別採用への対応
- (3) クレーム発生時の対応
- (4) クレームの再発防止

6. 外観検査とヒューマンエラー対策

- (1) 外観検査とは
 - ①多角的な測定には便利で早い ②器差が大きく調整が難しい ③再現性に欠ける ④測定器(人間)の管理が面倒 ⑤客の感覚と同じで実務的である
- (2) 外観検査の問題と対策
 - ①パネル(検査員)の管理 ②判定基準の設定 ③検査環境の整備
- (3) ヒューマンエラーとは
- (4) ヒューマンエラーの要因と対策
 - ①ヒューマンエラーの現象と原因 ②ヒューマンエラーの処置・対策

7. まとめ

質疑・応答 個別相談(当日受け付けます)

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

